

*売れない時代でも成長する方法はあります！

%company%

%free1%

%free2%

%name_sama%

■中小企業経営者列伝、第10弾。5回シリーズ

社長史名將の軌跡

世界シェアトップを誇る岡本硝子の挑戦

岡本硝子株式会社

第三代代表取締役社長 岡本毅氏

◆第1回 ガラスの時代を牽引する岡本毅氏を形成したもの

岡本少年が社長になるまで

◆第2回 怒涛の警察官僚時代

◆第3回 岡本硝子(株)・三代目社長の紆余曲折

オンリーワン企業への歩み

◆第4回 岡本硝子(株)に打ち付ける逆風

◆第5回 ガラスの時代に向けて

創業 100 周年、そして 200 年企業への道

◆第2回 怒涛の警察官僚時代

目次

▶はじめに

▶岡本流マネジメントの始まり

▶徹底的に叩き込まれた「危機管理」

▶トップが判断すべきこととは何か？

▶無言の父と交わした 2 度目の約束

▶はじめに

勉学にスポーツに、そして趣味にと激しい変化の時代の中でも充実した学生時代を過ごした岡本氏だが現在の岡本硝子（株）3代目社長として、高度な経営判断をくだせるに至るスキルを磨いた“場”として警察官僚時代を抜きにしては語れない。

岡本氏が 1980 年に父との約束を胸に警察官僚としての道をスタートした際、同期生はわずか 18 名で、エリート中のエリートとして、警察大学校で厳格な訓練を受けました。

これらは警察組織内で0.2%以下という選り抜かれたエリートで、
多岐にわたる部署を経験しながら、広範囲にわたる知識と経験を蓄積していきました。

1984年のドイツ留学では、犯罪被害者給付金支給法に関連する重要な研究を行い、
家族と共に国境を越え10万キロ以上を旅することで、国際的な感覚を研ぎ澄ましたのです。
帰国後、北海道警での汚職検挙への貢献、警察庁での広域捜査力強化計画の遂行など、
多岐にわたる重要な任務を達成しました。
また、外交官としての役割を果たしながら、
警察官僚としての洞察力と国際感覚を一層磨き上げました。

▶岡本流マネジメントの始まり

岡本氏は警察官僚としてのキャリアを通じて多くの実績をあげましたが、
その過程で多くの学びがありました。

例えば北海道署・捜査第二課長としての彼の注力点は、部下がより効率的に働ける環境の構築でした。
彼は階級に囚われることなく、必要な場合には自らがマスコミへの対応を担うなど、
積極的な「水平分業」の姿勢を持ちました。

このようなリーダーシップスタイルは、

「始まりは、いつも私から。それ、私がやります」という岡本硝子（株）行動規範へと発展し、
岡本流マネジメントの礎となりました。

この経歴とマネジメントスタイルは、

激動のキャリアを歩む中でも、常に周囲への配慮を忘れないリーダーシップの重要性を私たちに示しています。

▶徹底的に叩き込まれた「危機管理」

岡本氏は、数々の事件を通じて「悲観的に準備し、楽観的に行動せよ」という警察の鉄則を体感し、危機管理の重要性を深く理解したと言います。

例えば上尾市の爆発事故や東松山市の火災を通じて、最悪のシナリオを想定すること、そして準備の重要性を学び、また、京都府警での勤務や中国トカレフ事件を通じて、情報の検証と多角的な視点の重要性を学びました。

現在でも岡本氏は、日常生活においても、電車での位置取りなど、細部にわたるまでの慎重さを維持していると言います。

▶トップが判断すべきこととは何か？

さらに、1995年、埼玉県警刑事部長としての岡本氏は「警察官拉致立てこもり事件」を通じて、トップとしての判断に関する深い洞察を得ました。

また、総合指揮室での戦略的な決定から、現場の判断に委ねる柔軟さまで、適切な判断と権限の委譲がいかに重要であるかを学びました。

これらを通じて、重大な決断を下すためには、
心身共に冷静な状態を保つことが不可欠であるという教訓を得ました。

▶無言の父と交わした2度目の約束

1995年11月、警察官僚としてのキャリア16年目を迎えた岡本氏は、
会議中に父が転落事故を起こしたという衝撃の知らせを受けました。
かつて厳しい言葉を投げかけていた父も、岡本氏の成長を見て考えを改め、
「本部長経験後の帰還でも良い」との思いに至っていましたが
ICU(集中治療室)で安らかに眠っているような父と、最後の時間を過ごすこととなったのです。

この経験は、岡本氏の純粋な志と、父との深い絆を象徴しています。
12月20日には、その誇りを胸に退官し、長年考えていた家業への道を歩み始めました。
これは、新たな約束への第一歩でした。

執筆：(株)I&C・HosBiz センター はやぶさ編集長 岩下 一智

いかがでしたでしょうか？

~~~~~

次回の、

■中小企業経営者列伝、第10弾。5回シリーズ

社長史名将の軌跡

世界シェアトップを誇る岡本硝子(株)の挑戦

岡本硝子株式会社

第三代代表取締役社長 岡本毅氏

◆第3回 岡本硝子(株)・三代目社長の紆余曲折

は、第634号(24・01・19金)でお送り致します。

お楽しみに！

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍

合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を
よろしくお願ひします。

現在連載中の

■中小企業経営者列伝、第10弾。5回シリーズ

社長史名将の軌跡

世界シェアトップを誇る岡本硝子(株)の挑戦

岡本硝子株式会社

第三代代表取締役社長 岡本毅氏

◆第3回 岡本硝子(株)・三代目社長の紆余曲折

は、第634号 24・01・19(金)にお送りいたします。

なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株) I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC